

# おおはらだより

第5号  
平成25年1月号  
発行:大原自治振興会  
甲賀市甲賀町相模 173-1  
TEL88-4101 Fax88-3104

## 新年のご挨拶



大原自治振興会  
副会長 廣岡 六郎

### 区・自治会とのさらなる結びつきを

新年明けましておめでとうございます。

大原学区の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。おかげさまで大原自治振興会は設立して2回目の正月を迎えました。

皆様には平素よりご支援・ご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

設立2年目を迎えた今、専門4部会も各々に特色を持った事業が出来るようになり、特に今年度は甲賀町3学区共同の事業にも取り組むことが出来ました。

今後、方向性の1つとしまして、各区の区・自治会長との関係をより密にして、それぞれがかかえる諸問題を大原自治振興会と共に考え、少しでも負担の軽減を図り、共に発展出来れば良いのではないかと考えています。大原学区皆様の一層の知恵とお力添えをお願い申し上げます。

平成25年の年頭に際し、新しい年が皆様にとりまして、明るく、幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。



大鳥神社は古い歴史があり、夏には大原祇園(県指定無形民俗文化財)が盛大に行われています。

(シリーズ 大原の風景)

## 臨時総会を開催

～ 規約を一部改正 ～

12月15日(土)甲賀共同福祉センターにおいて、臨時総会を開催しました。臨時総会では各専門部会長が事業の進捗状況について報告した後、「平成24年度補正予算案」「規約改正案」について議案が提出され、質疑の後、全会一致で可決されました。

規約の主な改正点としては、次のとおりです。

- ① 会長及び副会長を会員の中から選出する。  
(改正前は、自治振興委員の中から選出)
- ② 自治振興委員の任務の中に「まちづくり計画の精査と素案の作成」を追加。
- ③ 専門部会委員の任期を2年とする。(改正前は、任期を定めていなかった)
- ④ 広報委員会を設置する。委員は会長が会員の中から4名を委嘱し、任期は2年。

臨時総会の様子



## 人口減少社会に備えて

### ～自治振興会講演会～

岩崎教授の講演→



12月15日、甲賀共同福祉センターにおいて臨時総会の前に、自治振興会についての講演会を開催しました。講師には四日市大学総合政策学部教授の岩崎恭典さんをお迎えして、「自治振興会活動の意義と、今後の活動を楽しむために」をテーマに講演をいただきました。

岩崎教授は、「人口減少・少子高齢化が進むなかで、この時代を乗り切るには地域を見直すことが大切である。」また、「地域のために何ができるか」について知恵を出し合い、今後10年を見据えた仕組みをつくる必要があり、このためには自治振興会の取り組みが重要であることを、人口データや、伊賀市の「お買い物バス」「農産物直販所」などの例を用いて分かりやすく説明されました。

## 災害時死者0人の 防災協働社会を目指して

### ～先進地視察研修～

災害図上訓練(DIG)→



大原自治振興会では、防災事業についても今後、取り組んでいきたいと考えています。このため、11月16日、岐阜県恵那市におきまして、防災を目的とした先進地研修を行ないました。

研修会では、恵那市防災研究会事務局長の加藤浩一さんから「天気予報の情報を防災に使うこと」「災害用伝言ダイヤル活用」「緊急地震速報が出された場合の行動」「家屋の耐震補強や家具の固定の大切さ」などについて説明いただきました。また、阪神淡路大震災では、警察や消防・自衛隊によって助けられた人よりも、近所の人の方で助かった人の方が約3倍多いと聞かされました。

後半では、災害図上訓練DIG(ディグ)の実習が行われ、大原学区の白地図に「危険なところ」「災害に弱い人」「災害時に役に立つ人」「避難所」の印を書き入れ、地震・洪水・山崩れなどを想定し、複数の避難ルートを考えました。

参加者からは、「自分たちの住む町の災害を知る・まちを知る・人を知る ことにつながり、災害に遭った時に大変役立つ。」との感想が寄せられました。

# 部会活動

## 地域振興部会

### 大原の歴史再発見

～ミステリーツアー 2012～

11月3日、「大原の歴史再発見・ミステリーツアー」を開催しました。このツアーは、大原の魅力をより多くの人に知ってもらおうと、地域振興部会と教育文化部会が共催し「甲賀の郷観光ボランティアガイド会」の協力を得て行なったもので、当日は、スタッフも含め46人が秋の一日を満喫しました。

ツアーは、櫛野寺から滝川城址・圓鏡院・阿弥陀寺、長福寺、垂井城跡と訪れ、最後は大鳥神社で菊花展を觀賞した後、昼食に地元特産品の鹿深みそを使ったナベや甲賀米のおにぎりを味わっていただきました。

参加者からは、「大原にも、こんなに素晴らしい文化財があるとは知らなかった。来年もツアーがあれば、ぜひ参加したい。」などの感想が寄せられました。



↑ 櫛野寺本堂

↑ 圓鏡院の庭  
(櫛野)

↑ 垂井城跡  
(大原中)

大鳥神社で菊花展を觀賞→

# 健康福祉部会

## 日々の健康を維持するための生活習慣

### ～第2回健康教室～

亀山院長の講演→



10月6日、甲賀健康医療専門学校において第2回健康教室を開催しました。

最初に伊藤校長から専門学校の概要についての説明を受け、硬式野球部監督の藤本副校長からは学校出身のプロ野球選手についてのお話を伺いました。これに続き、付属接骨院の院長、亀山聡士さんから「日々の健康を維持するための生活習慣」と題した講演がありました。

亀山院長は、腰痛などを防ぐには日々の正しい姿勢が大切であること、また、簡単にできる体操やストレッチなども腰痛に有効であることを話されました。最後に、体育館や食堂等の施設見学も行いました。



体育館の見学←

# 生活環境部会

## 葉ボタンを配布

### ～花いっぱい運動～



11月25日、生活環境部会員や役員が、紅白の葉ボタン140鉢を、各区・自治会の公民館や甲賀駅、地域市民センターに配布しました。

昨年度、大原自治振興会では、甲賀駅北口に「21世紀の会」(大原市場)と合同で花の苗を植栽しましたが、今年度は、さらにその取り組みを各区・自治会に広げていきたいと考えています。

また、2～3月には、各区へのアンケートに基づき春から夏にかけて咲く花を配布する予定をしています。部会では、「花いっぱい運動」を行うことで、地域の人々の心を和ませ、目を楽しませることができればと考えています。



大原市場公民館玄関←



甲南高校農場で受け取り←

# 教育文化部会

## 地域と学校が協働で子どもを育てる

### ～教育文化講演会～

←高木先生の講演



10月31日、かふか生涯学習館で教育文化講演会を開催しました。講師には、元岩根小学校の校長でコミュニティ・スクール推進員の高木和久さんを迎え「地域と学校が協働で子どもを育てる」をテーマに講演をいただきました。

高木さんは、「子どもたちが、今後、自治会の担い手になることを考え、地域の10年後・15年後を見通し、どんな地域をつくるのかを学校と地域で話し合うことが大切である。」また、「地域で行事を行う場合は、子どもを『お客さん』扱いせず、子どもにできる仕事をしてもらい、行事の達成感を感じさせることが大切である。」と話されました。

講演の後、神区長の野口重雄さんから「かむら子ども育ちの会」の事例発表があり、会の運営方法や、夏休みの学習の様子、自由体験学習の内容として「飛出し注意人形看板作り」「区有林の見学と登山」「水生生物の自然環境学習」などを写真でわかりやすく説明されました。



「かむら子ども育ちの会」の活動

飛出し注意人形看板作り

区有林の見学と登山



# 郷（さと）だより

## 鳥居野区

### 伝統ある地域と密着した 鳥居野婦人会！！



鳥居野婦人会は、現在 30 名で活動し、今年度 4 月の総会后「フラワーアレンジメント」を作り、思い出に残る楽しい一時を過ごしました。また年 2 回の環境保全活動をはじめ、区主催の納涼祭や敬老会・ファミリー運動会などに協力し、地域の方々と楽しく交流しています。



1 2 月は、お正月の寄せ植えを学び、年度末には恒例のお食事会でより親睦を深め、『細く永く』をモットーに楽しく仲の良い会を次世代へと伝えていきたいと思っています。



## 大原市場区

### 夏の一大イベント区民納涼祭



大原市場区の夏の大きな事業であります、第 16 回区民納涼祭を、8 月 18 日、区の公民館を会場に行ないました。

午後 5 時より子ども金魚すくい、ヨーヨーつり、ビンゴゲーム。夜店では、焼きそば、トウモロコシ、かき氷、フライドチキン、フランクフルト、飲物等沢山の出店がありました。



イベントとしまして今年度は、ハワイアンショーが行われ、区民はショーにうっとりとし、しばし暑さを忘れました。その後子どもと大人の変装盆踊りが行われ、最後に参加者全員に当たる大抽選会が実施され、イベントも最高に盛り上がり、午後 9 時過ぎに無事終了しました。

編集後記 新年あけましておめでとうございます。広報委員会では、読みやすく・分かりやすくをモットーに編集を進めています。ご意見がございましたらお寄せください。